

# 『きっかけを与え続ける取組』

～自ら考え行動する学生を育成するために～

2011.11.09 ～ 2011.11.11

大学職員情報化研究講習会 ～応用コース～

チームK

## 目次

1、課題認識とテーマ設定

2、解決策

3、課題・制約・評価方法

4、まとめ

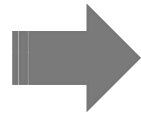
# 1-1、課題認識とテーマ設定

大学に与えられた使命

## 自ら考え行動する学生を育成する

それぞれの大学で抱えている課題

- ・学生に目的意識がない
- ・基礎学力不足
- ・ひきこもり
- ・友達が作れない
- ・学ぶ意識の欠如
- ・すぐに答えを求める
- ・集団に入れない
- ・自主性のなさ
- ・相談できる友人がいない
- ・コミュニケーション能力が低い
- ・大学とのミスマッチ



チームKの理想像  
受け身の学生に  
主体性を持たせたい



そのためには...

人と人とのつながりが必要

## 1-2、課題認識と解決策

大学の使命

自ら考え、行動する学生の育成



目標

受け身の学生に主体性を持たせたい



そのために...

学生が何かに気づく機会を与え続ける



人と人とのつながり

# つながりとは

- ・在學生同士のコミュニケーションを促して、協力し合える環境を作る
- ・学生と教職員がコミュニケーションを取り、適切なタイミングで助言を与える
- ・学生と教職員がコミュニケーションを取り、学生から気軽に相談できるようにする
- ・職員同士のコミュニケーションを取り、学生に対して適切な対応を行えるようにする
- ・受験生と在學生がコミュニケーションを取り、受験生の意欲を向上させる
- ・卒業生と在學生がコミュニケーションを取り、在學生の意欲を向上させる
- ・学生が自分の内面を見つめる機会を作る
- ・大学と保護者がコミュニケーションを取り、気軽に相談できる環境を作る

# つながりとは

- ・在學生同士のコミュニケーションを促して、協力し合える環境を作る
- ・学生と教職員がコミュニケーションを取り、適切なタイミングで助言を与える
- ・学生と教職員がコミュニケーションを取り、学生から気軽に相談できるようにする
- ・職員同士のコミュニケーションを取り、学生に対して適切な対応を行えるようにする
- ・受験生と在學生がコミュニケーションを取り、受験生の意欲を向上させる
- ・卒業生と在學生がコミュニケーションを取り、在學生の意欲を向上させる
- ・学生が自分の内面を見つめる機会を作る
- ・大学と保護者がコミュニケーションを取り、気軽に相談できる環境を作る

## 2、チームKの考える解決策

face to faceの対応が  
一番重要ではあるが  
学生同士のコミュニケーションを  
促進する策として...

学生同士のコミュニケーション

コミュニケーションツールとしてSNSを取り入れる

バーチャル(SNS)とリアルとの融合

実在するコミュニティ(部活、サークル、クラス)を  
SNS上で再現して、リアルなコミュニティへの窓口にする

研修を受けた上級生が各コミュニティの推進役となる

## 3-1、課題・制約・評価方法

### 運用に向けた課題

- ・先輩学生へのインセンティブ付与
- ・先輩学生に向けた研修方法
- ・個人情報管理

### 運用開始後の課題

- ・教職員のサポート
- ・稼働率が悪い場合の対応策
- ・学生SOSの窓口作成



## 3-2、課題・制約・評価方法

### 必要な制約

- ・強制加入
- ・利用マナー
- ・実名登録
- ・新規コミュニティへの制限

### 評価方法

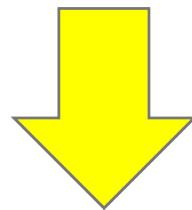
- ・定期的な自己評価アンケート
- ・稼働率
- ・友達数／コミュニティ数／アクセス数／発言数

## 4、まとめ

学生同士のコミュニケーションを発展させ  
人と人のつながりを持たせる



学生に新たな気づきが生まれる



その結果...

**学生が主体的に動くことが期待できる！**

さらに...

先輩学生に新入生のサポート役を担わせることによって  
彼らの成長も促す事ができる

ご清聴ありがとうございました！

第6分科会

チームK